

論 文

子どもの成長を育む遊び・生活について 一言葉の領域に着目して

○田中浩二*1 山本容資 *2 梅木幹司*1

キーワード：保育所保育指針、領域「言葉」、遊び、生活

1 はじめに

保育所保育指針（以下、保育指針）では、第2章において「保育の内容」が示されている。そこでは、保育所において、子どもが自己を十分に発揮し、生活と遊びが豊かに展開される中で乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられるよう、保育の内容を充実させていくことが極めて重要であるとともに、そのことが保育の第一義的な役割と責任であると示されている。加えて、同じく保育指針の第1章で示される「育みたい資質・能力」が、保育所における生活や遊びの中で一体的に育まれるよう保育を行うよう求められている、と記述されている。このように、保育所では、「育みたい資質・能力」、具体的には、「知識及び技能の基礎」と「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力」を育むことを目標とし、そのために保育の内容で示される5領域などを積み重ねることが必要であるとされている。加えて、保育指針では、その積み重ねは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として現れることも示されている。このように、保育を実践していく際には、子どもの育ちを見通したり、目指すための視点・観点があるが、上記に示した「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、そして「保育の内容」は特に重要であり、保育現場においても日常の計画作成や小学校との接続の場面で用いられている。

一方で、これらを体系的に紐付けようとすると非常に困難を有する。例えば、3歳以上児であれば、健康、人間関係、環境、言葉、表現の主に5つの領域で構成

される「保育の内容」には、それぞれ「ねらい」および「内容」が示されており、この「ねらい」や「内容」に留意しつつ、遊びや生活の場面の中で子どもが経験したり、身につけられるようにしていく。しかし、「保育の内容」に示されている「ねらい」を達成し、「内容」を経験したり、獲得していくために、どのような遊びや生活場面、さらには保育者の関わりや援助が求められるかは明確に示されておらず、保育者の創意工夫の中で実践されている。それゆえ、計画の作成や小学校との接続で伝達される内容は、保育者の特性に依存する傾向がある。田中らは、保育と保育に関連する意識や行為・行動の構造化を試みており、効果的かつ客観的な計画・評価の必要性や可能性について言及している。¹⁾²⁾³⁾

OECD（経済協力開発機構）も、カリキュラムの一貫性や継続性が子どもの学力や非認知スキル、社会的スキルの向上と関連していることを示している。つまり、子どもの育ちを見通し、連続性を確保していくためには、子どもの状態を客観的に評価するだけでなく、どのような背景によってさまざまな力が獲得されてきたかを検討することが必要である。特に乳幼児期では、教科科目による学びとは異なり、遊ぶことや生活すること自体が学びであるため、より注意深く成長発達との関わりを検討することが求められる。

そこで、本研究では、保育指針で示される3歳以上児の「保育の内容」のうちの領域「言葉」に着目し、領域「言葉」の内容を育むために必要となる遊びや生活を明らかにすることを目的とした。

*1 至誠館大学 現代社会学部

*2 至誠館大学 非常勤講師

2 方法

1) 調査目的および調査対象、調査期間

本研究は、保育所や認定こども園で行われている保育の現状を把握することならびに、保育において育まれる育ちや学びの連続性を確保するための要因を検討することを目的に調査を実施した。

調査対象は、山口県下関市内の公私立保育所および認定こども園に所属するすべての保育者とした。

調査期間は、2022 年 10 月に実施した。

2) 調査内容

本調査は、保育指針・教育保育要領では子どもの年齢によって保育の内容が異なるため、乳児担当保育士・保育教諭用（以下、乳児担当保育者用）、1・2 歳児担当保育士・保育教諭用（以下、1・2 歳児担当保育者用）、3 歳以上児担当保育士・保育教諭用（以下、3 歳以上児担当保育者用）の 3 種類の調査票を用いた。

調査項目は、①基本情報、②回答者の保育に関する行動や意識について、③保育指針・教育保育要領の内容について、④保育の内容と遊び・生活との関連について、⑤幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について、の 5 つの調査項目群で構成した。④保育の内容と遊び・生活との関連についての選択肢は、調査に先立って行われた「就学前施設で行われている遊び・生活の調査」結果をもとに作成しており、3 歳以上児保育者用では、室内遊び・活動 45 項目、屋外遊び・活動 45 項目、生活 30 項目、行事 30 項目の計 150 項目で構成されている。

3) 分析方法

分析については、本研究の目的に基づき、先述の調査項目のうち、①基本情報と④保育の内容と遊び・生活との関連について、を用いて分析を行った。

分析方法については、まず調査対象者の基本属性についての記述統計量の算出を行った。続いて、3 歳以上児の領域「言葉」の 10 項目の内容それぞれについ

て、3 歳児、4 歳児、5 歳児の年齢別に選択された遊び・生活の度数を基準に上位 15 項目を抽出した。その際、選択されたすべての遊び・生活に対する割合も算出した。

次に、領域「言葉」の 10 の内容それぞれについて、各年齢で抽出された遊び・生活の項目の共通の程度を確認するために、共通項目や共通項目にかかる度数ならびに割合を算出した。

なお、統計分析には、SPSS29.0 を使用した。

4) 倫理的配慮

本調査にあたっては、至誠館大学倫理審査委員会の承認を得た。

3 結果

下関市内の公私立保育所・認定こども園 52 ヶ所に 772 件の調査票を配布した結果、754 件（回収率 97.7%）の回答を得た。調査票別では、乳児担当保育者用に回答した件数は 135 件（17.9%）、1・2 歳児担当保育者用の回答件数は 318 件（42.2%）、3 歳以上担当保育者用への回答件は 301 件（39.9%）であった。得られた回答の中で、基本情報に欠損値があった場合には回答者に確認し、その他の項目での欠損値は同一項目の平均値を充てた。その結果、分析対象は回収数と同じ 754 件となった。

1) 回答者の基本属性

得られた 754 件の回答者の性別や子育て経験、職位等の基本情報を表 1 に示した。性別は、「女性」が 736 件（97.6%）、「男性」が 18 件（2.4%）であった。子育て経験については、「あり」が 401 件（53.2%）、「なし」が 353 件（46.8%）とそれぞれ約半数となった。職位は、それぞれ「園長」が 12 件（1.6%）、「主任保育士」が 66 件（8.8%）、「保育士」が 657 件（87.1%）、「その他」が 19 件（2.5%）であった。勤務形態では、「常勤」が 452 件（59.9%）、「非常勤」が 302 件（40.1%）であ

った。勤務時間については、「概ね 8 時間」が 523 件 (69.4%)、「6-8 時間未満」が 173 件 (22.9%) となり、いわゆる常勤相当あるいは常勤に準ずる勤務時間で勤務している保育者が全体の 9 割以上となった。現在の担当については、「1 歳児」および「2 歳児」がそれぞれ 143 件 (19.0%) と最も多かった。次いで「0 歳児」が 137 件 (18.2%)、「3 歳児」が 101 件 (13.4%) とな

り、年齢の低いクラスを担当する保育者が多く、配置基準を反映する結果となった。クラスでの役割は、「クラスリーダー」が 303 件 (40.2%)、「サブリーダー」が 149 件 (19.8%)、「その他」が 302 件 (40.1%) となった。

平均経験年数 (表 2) に関しては、全体の平均経験年数は 13.2 年となり、担当年齢毎では、「その他 (フリーなど)」が最も高い 19.3 年、次いで「0 歳児」クラス担当の保育者が 13.8 年、「1 歳児」クラス担当保育者が 13.2 年となり、年齢の低いクラスの平均経験年数が高い結果となった。また、「その他 (フリー)」は、経験年数が最も高く、SD (標準偏差) も高い値を示したことから、比較的经验年数の多い保育者が対応している傾向が伺えた。

表 1 回答者の基本属性

項 目		件数	割合
		n=754	
性 別	女 性	736	97.6
	男 性	18	2.4
子育て経験	あり	401	53.2
	なし	353	46.8
職 位	園長・副園長	12	1.6
	主任保育士	66	8.8
	保育士	657	87.1
	その他	19	2.5
勤務形態	常 勤	452	59.9
	非常勤	302	40.1
勤務時間	概ね8時間	523	69.4
	6-8時間未満	173	22.9
	4-6時間未満	47	6.2
	4時間未満	11	1.5
現在の担当	0歳児	137	18.2
	1歳児	143	19
	2歳児	143	19
	3歳児	101	13.4
	4歳児	75	9.9
	5歳児	83	11
	その他 (フリーなど)	72	9.5
クラスでの役割	クラスリーダー	303	40.2
	サブリーダー	149	19.8
	その他	302	40.1

表 2 担当年齢毎の平均経験年数

担当年齢	件数 (%)	経験年数の平均値 ($\pm$ SD)	経験年数の 中央値
n=754			
0歳児	137 (18.2)	13.8 ($\pm$ 10.7)	12
1歳児	143 (19.0)	13.2 ($\pm$ 10.7)	11
2歳児	143 (19.0)	11.2 ($\pm$ 9.0)	10
3歳児	101 (13.4)	11.8 ($\pm$ 8.9)	11
4歳児	75 (9.9)	13.0 ($\pm$ 9.9)	11
5歳児	83 (11.0)	12.2 ($\pm$ 9.5)	8
その他 (フリーなど)	72 (9.5)	19.3 ($\pm$ 11.4)	20
合計	754 (100.0)	13.2 ($\pm$ 10.24)	11

2) 領域「言葉」を育む遊びや生活について

本調査では、領域「言葉」の 10 の内容それぞれについて、これらを育むために効果的であると考えられる遊びや生活を選択肢から 5 つまで選択してもらった。10 の内容について、3 歳児と 4 歳児、5 歳児で選択された上位 15 項目の遊びや生活の比較を表 3 から表 12 に示した。なお、各年齢で得られる最大の度数は、3 歳児では 505 件、4 歳児では 375 件、5 歳児では 415 件となり、表中のパーセンテージは得られた回答すべてに対する割合を示した。

言葉 1「親しみを持って聞いたり、話したりする」については、すべての年齢で「【生活】保育者との関わり」と「【生活】友だちとの関わり」の 2 つが上位に位置するとともに、「【生活】朝の会・帰りの会」や「【生活】他クラス・異年齢時との活動」、「【生活】年下の子・友だちのお世話」など、生活場面での選択肢が多く挙げられた。遊びの項目については、「【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ」が上位に挙げるとともに、「【室

内】言葉あそび」や「【室内】ままごとあそび」などが選択された。

言葉 2「考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する」では、いずれの年齢でも「【生活】意見などを発表すること」が最も多く、次いで「【生活】友だちとの関わり」、「【生活】保育者との関わり」、「【室内】ままごとあそび」となり、上位 4 項目が同じ結果となった。

言葉 3「したいことなどを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする」では、「【生活】保育者との関わり」が最も多く、次いで「【生活】友だちとの関わり」、「【生活】意見などを発表すること」となり、先の内容と同じように 3 つの年齢で同様の結果となった。

言葉 4「人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す」では、最も多く選択された遊び・生活は、「【生活】友だちとの関わり」となるとともに、「【生活】保育者との関わり」や「【生活】意見などを発表すること」、「【生活】朝の会・帰りの会」など、生活場面に関する項目が上位を占めた。

言葉 5「生活の中で必要な言葉が分かり、使う」では、領域「言葉」の他の内容でも見られたように、「【生活】保育者との関わり」や「【生活】友だちとの関わり」が上位に位置すると同時に、「【生活】挨拶をすること」も上位に挙がった。

言葉 6「親しみをもって日常の挨拶をする」では、

「【生活】挨拶をすること」がいずれの年齢でも最も多く選択され、次いで「【生活】友だちとの関わり」や「【生活】保育者との関わり」、「【生活】朝の会・帰りの会」といった生活場面での項目が多く挙がった。

言葉 7「生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く」では、「【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ」がいずれの年齢でも最も多く選択された。また、「【室内】言葉あそび」や「【室内】歌あそび」、「【室内】絵本・図鑑を読む」といった室内あそびに関する項目が多く挙がった。

言葉 8「いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする」では、先の言葉 7 と同じく「【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ」が最も多く選択された。加えて、年齢によって上位に挙がってくる項目も異なっており、3 歳児では「【室内】ごっこあそび」や「【行事】発表会（練習含む）」、「【室内】お店屋さんごっこ」と続き、4 歳児では「【行事】発表会（練習含む）」や「【室内】劇あそび」、5 歳児では「【生活】保育者との関わり」や「【室内】言葉あそび」となった。

言葉 9「絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう」については、内容に記述されている活動に関連し、「【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ」や「【室内】絵本・図鑑を読む」、「【室内】劇あそび」、「【行事】発表会（練習含む）」が上位に挙

表 3 言葉 1「親しみを持って聞いたり、話したりする」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【生活】保育者との関わり	79(14.4)	【生活】友だちとの関わり	61(14.4)	【生活】保育者との関わり	85(16)
2	【生活】友だちとの関わり	74(13.5)	【生活】保育者との関わり	61(14.4)	【生活】友だちとの関わり	81(15.3)
3	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	46(8.4)	【生活】意見などを発表すること	44(10.4)	【生活】意見などを発表すること	55(10.4)
4	【生活】朝の会・帰りの会	36(6.5)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	39(9.2)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	36(6.8)
5	【生活】意見などを発表すること	30(5.5)	【室内】言葉あそび	21(4.9)	【生活】朝の会・帰りの会	28(5.3)
6	【生活】挨拶をすること	25(4.5)	【生活】朝の会・帰りの会	15(3.5)	【室内】言葉あそび	24(4.5)
7	【生活】他クラス・異年齢児との活動	19(3.5)	【室内】ままごとあそび	14(3.3)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	19(3.6)
8	【室内】言葉あそび	18(3.3)	【生活】挨拶をすること	13(3.1)	【生活】年下の子・友だちの世話	13(2.5)
9	【室内】ままごとあそび	16(2.9)	【室内】ごっこあそび	11(2.6)	【生活】挨拶をすること	13(2.5)
10	【室内】ごっこあそび	15(2.7)	【室内】絵本・図鑑を読む	7(1.6)	【室内】ままごとあそび	12(2.3)
11	【室内】ふれあいあそび	13(2.4)	【生活】保育者の手伝いをする	7(1.6)	【室内】ごっこあそび	11(2.1)
12	【生活】年下の子・友だちの世話	12(2.2)	【生活】年下の子・友だちの世話	7(1.6)	【室内】お店屋さんごっこ	10(1.9)
13	【室内】絵本・図鑑を読む	7(1.3)	【室内】ふれあいあそび	6(1.4)	【室内】絵本・図鑑を読む	7(1.3)
14	【室内】お店屋さんごっこ	7(1.3)	【屋外】ごっこあそび	6(1.4)	【生活】保育者の手伝いをする	7(1.3)
15	【屋外】ごっこあそび	6(1.1)	【室内】手あそび	5(1.2)	【室内】ふれあいあそび	5(0.9)

がり、いずれの年齢でも同様の結果となった。

言葉 10「日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう」では、順位は若干異なるものの「【室内】言葉あそび」や「【室内】お絵かき・自由画」、「【室内】

絵本・図鑑を読む」、「【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ」、「【室内】ワークブック」といった絵や文字などに関する遊びが上位を占める結果となった。

表 4 言葉 2「考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【生活】意見などを発表すること	66(12)	【生活】意見などを発表すること	66(15.5)	【生活】意見などを発表すること	82(15.5)
2	【生活】友だちとの関わり	63(11.5)	【生活】友だちとの関わり	48(11.3)	【生活】友だちとの関わり	58(10.9)
3	【生活】保育者との関わり	62(11.3)	【生活】保育者との関わり	42(9.9)	【生活】保育者との関わり	58(10.9)
4	【室内】ままごとあそび	27(5)	【室内】ままごとあそび	18(4.2)	【室内】ままごとあそび	18(3.4)
5	【室内】ごっこあそび	24(4.4)	【室内】言葉あそび	14(3.3)	【生活】さまざまなことに挑戦すること	17(3.2)
6	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	17(3.1)	【室内】ごっこあそび	14(3.3)	【行事】発表会（練習含む）	17(3.2)
7	【生活】他クラス・異年齢児との活動	17(3.1)	【生活】当番活動	14(3.3)	【室内】ごっこあそび	16(3)
8	【生活】朝の会・帰りの会	13(2.4)	【生活】さまざまなことに挑戦すること	13(3.1)	【生活】朝の会・帰りの会	14(2.6)
9	【屋外】ごっこあそび	11(2)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	11(2.6)	【室内】劇あそび	10(1.9)
10	【生活】年下の子・友だちの世話	10(1.8)	【生活】朝の会・帰りの会	10(2.4)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	10(1.9)
11	【室内】言葉あそび	8(1.5)	【室内】劇あそび	9(2.1)	【生活】年下の子・友だちの世話	9(1.7)
12	【室内】お店屋さんごっこ	8(1.5)	【生活】年下の子・友だちの世話	8(1.9)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	8(1.5)
13	【屋外】ままごとあそび	8(1.5)	【室内】お店屋さんごっこ	7(1.7)	【室内】言葉あそび	8(1.5)
14	【生活】さまざまなことに挑戦すること	8(1.5)	【生活】挨拶をすること	6(1.4)	【室内】お店屋さんごっこ	8(1.5)
15	【行事】発表会（練習含む）	8(1.5)	【行事】発表会（練習含む）	6(1.4)	【屋外】ごっこあそび	7(1.3)

表 5 言葉 3「したいことなどを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【生活】保育者との関わり	89(16.2)	【生活】保育者との関わり	78(18.4)	【生活】保育者との関わり	89(16.8)
2	【生活】友だちとの関わり	78(14.2)	【生活】友だちとの関わり	64(15.1)	【生活】友だちとの関わり	79(14.9)
3	【生活】意見などを発表すること	33(6)	【生活】意見などを発表すること	35(8.2)	【生活】意見などを発表すること	49(9.2)
4	【生活】他クラス・異年齢児との活動	30(5.5)	【生活】さまざまなことに挑戦すること	13(3.1)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	19(3.6)
5	【生活】さまざまなことに挑戦すること	17(3.1)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	12(2.8)	【生活】朝の会・帰りの会	15(2.8)
6	【生活】年下の子・友だちの世話	14(2.5)	【生活】当番活動	9(2.1)	【生活】さまざまなことに挑戦すること	15(2.8)
7	【生活】身支度をする	13(2.4)	【室内】ままごとあそび	7(1.6)	【生活】年下の子・友だちの世話	14(2.6)
8	【室内】ままごとあそび	12(2.2)	【室内】ごっこあそび	7(1.6)	【室内】ごっこあそび	12(2.3)
9	【生活】保育者の手伝いをする	12(2.2)	【室内】集団でのゲームあそび	7(1.6)	【室内】集団でのゲームあそび	12(2.3)
10	【室内】ごっこあそび	8(1.5)	【生活】年下の子・友だちの世話	6(1.4)	【室内】ままごとあそび	9(1.7)
11	【生活】衣服・靴の着脱	8(1.5)	【室内】ふれあいあそび	5(1.2)	【生活】ルール・約束を守ること	9(1.7)
12	【生活】ルール・約束を守ること	8(1.5)	【室内】言葉あそび	5(1.2)	【室内】絵本・図鑑を読む	8(1.5)
13	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	6(1.1)	【生活】身支度をする	5(1.2)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	8(1.5)
14	【屋外】ままごとあそび	6(1.1)	【生活】ルール・約束を守ること	5(1.2)	【屋外】集団でのゲームあそび	7(1.3)
15	【生活】片付け・整理整頓・掃除	6(1.1)	【室内】制作活動（造形・工作）	4(1)	【生活】挨拶をすること	7(1.3)

表 6 言葉 4「人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【生活】友だちとの関わり	81(14.7)	【生活】保育者との関わり	62(14.6)	【生活】友だちとの関わり	81(15.3)
2	【生活】保育者との関わり	80(14.5)	【生活】友だちとの関わり	61(14.4)	【生活】保育者との関わり	73(13.8)
3	【生活】意見などを発表すること	57(10.4)	【生活】意見などを発表すること	55(13)	【生活】意見などを発表すること	70(13.2)
4	【生活】朝の会・帰りの会	29(5.3)	【生活】朝の会・帰りの会	21(5)	【生活】朝の会・帰りの会	25(4.7)
5	【生活】他クラス・異年齢児との活動	24(4.4)	【生活】当番活動	14(3.3)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	23(4.3)
6	【生活】年下の子・友だちの世話	23(4.2)	【室内】言葉あそび	13(3.1)	【生活】年下の子・友だちの世話	19(3.6)
7	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	16(3)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	12(2.8)	【生活】当番活動	17(3.2)
8	【生活】ルール・約束を守ること	13(2.4)	【室内】ごっこあそび	10(2.4)	【生活】ルール・約束を守ること	15(2.8)
9	【室内】ままごとあそび	11(2)	【生活】ルール・約束を守ること	10(2.4)	【室内】言葉あそび	14(2.6)
10	【室内】ごっこあそび	11(2)	【室内】ままごとあそび	8(1.9)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	13(2.5)
11	【生活】当番活動	11(2)	【室内】集団でのゲームあそび	8(1.9)	【生活】挨拶をすること	7(1.3)
12	【生活】保育者の手伝いをする	8(1.5)	【生活】年下の子・友だちの世話	7(1.6)	【室内】ごっこあそび	6(1.1)
13	【室内】お店屋さんごっこ	7(1.3)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	6(1.4)	【室内】劇あそび	5(0.9)
14	【室内】言葉あそび	6(1.1)	【室内】お店屋さんごっこ	6(1.4)	【生活】保育者の手伝いをする	5(0.9)
15	【室内】集団でのゲームあそび	5(1)	【室内】劇あそび	4(0.9)	【生活】さまざまなことに挑戦すること	5(0.9)

表 7 言葉 5「親しみを持って聞いたり、話したりする」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【生活】 保育者との関わり	80(14.5)	【生活】 保育者との関わり	60(14.1)	【生活】 友だちとの関わり	70(13.2)
2	【生活】 友だちとの関わり	73(13.3)	【生活】 友だちとの関わり	59(13.9)	【生活】 保育者との関わり	66(12.5)
3	【生活】 挨拶をすること	60(11)	【生活】 挨拶をすること	50(11.8)	【生活】 挨拶をすること	46(8.7)
4	【室内】 ままごとあそび	22(4)	【生活】 意見などを発表すること	23(5.4)	【生活】 意見などを発表すること	34(6.4)
5	【生活】 意見などを発表すること	21(3.8)	【室内】 ままごとあそび	16(3.8)	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	22(4.2)
6	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	19(3.5)	【室内】 言葉あそび	14(3.3)	【生活】 朝の会・帰りの会	19(3.6)
7	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	19(3.5)	【室内】 ごっこあそび	14(3.3)	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	18(3.4)
8	【室内】 ごっこあそび	18(3.3)	【生活】 当番活動	13(3.1)	【生活】 当番活動	18(3.4)
9	【生活】 朝の会・帰りの会	18(3.3)	【生活】 朝の会・帰りの会	11(2.6)	【生活】 年下の子・友だちの世話	18(3.4)
10	【生活】 当番活動	15(2.7)	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	10(2.4)	【室内】 言葉あそび	15(2.8)
11	【生活】 年下の子・友だちの世話	12(2.2)	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	8(1.9)	【室内】 絵本・図鑑を読む	13(2.5)
12	【室内】 言葉あそび	9(1.6)	【室内】 お店屋さんごっこ	8(1.9)	【室内】 ごっこあそび	12(2.3)
13	【生活】 保育者の手伝いをする	8(1.5)	【生活】 年下の子・友だちの世話	8(1.9)	【室内】 ままごとあそび	7(1.3)
14	【室内】 お店屋さんごっこ	7(1.3)	【室内】 ふれあいあそび	5(1.2)	【室内】 お店屋さんごっこ	7(1.3)
15	【生活】 ルール・約束を守る	7(1.3)	【室内】 絵本・図鑑を読む	4(1)	【屋外】 ごっこあそび	6(1.1)

表 8 言葉 6「親しみをもって日常の挨拶をする」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【生活】 挨拶をすること	103(18.7)	【生活】 挨拶をすること	75(17.6)	【生活】 挨拶をすること	95(17.9)
2	【生活】 友だちとの関わり	78(14.2)	【生活】 保育者との関わり	59(13.9)	【生活】 友だちとの関わり	80(15.1)
3	【生活】 保育者との関わり	78(14.2)	【生活】 友だちとの関わり	57(13.4)	【生活】 保育者との関わり	80(15.1)
4	【生活】 朝の会・帰りの会	41(7.5)	【生活】 朝の会・帰りの会	33(7.8)	【生活】 朝の会・帰りの会	30(5.7)
5	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	20(3.6)	【生活】 当番活動	14(3.3)	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	22(4.2)
6	【生活】 当番活動	12(2.2)	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	13(3.1)	【生活】 年下の子・友だちの世話	18(3.4)
7	【屋外】 園外散歩	9(1.6)	【生活】 年下の子・友だちの世話	11(2.6)	【生活】 当番活動	13(2.5)
8	【生活】 年下の子・友だちの世話	9(1.6)	【生活】 給食・おやつを食べること	9(2.1)	【屋外】 園外散歩	12(2.3)
9	【生活】 給食・おやつを食べること	6(1.1)	【屋外】 園外散歩	7(1.6)	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	8(1.5)
10	【生活】 時間の認識を持つこと	6(1.1)	【室内】 ままごとあそび	5(1.2)	【行事】 小学校との交流・訪問	6(1.1)
11	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	4(0.7)	【室内】 ふれあいあそび	4(1)	【室内】 絵本・図鑑を読む	5(0.9)
12	【室内】 ままごとあそび	4(0.7)	【室内】 ごっこあそび	4(1)	【室内】 ままごとあそび	5(0.9)
13	【生活】 意見などを発表すること	4(0.7)	【生活】 時間の認識を持つこと	3(0.7)	【室内】 お店屋さんごっこ	5(0.9)
14	【室内】 ふれあいあそび	3(0.5)	【生活】 意見などを発表すること	3(0.7)	【生活】 意見などを発表すること	5(0.9)
15	【室内】 ごっこあそび	3(0.5)	【室内】 言葉あそび	2(0.5)	【室内】 ふれあいあそび	4(0.8)

表 9 言葉 7「生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	64(11.6)	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	51(12)	【室内】 絵本・紙芝居読み聞かせ	63(11.9)
2	【生活】 保育者との関わり	50(9.1)	【室内】 言葉あそび	51(12)	【室内】 言葉あそび	52(9.8)
3	【室内】 言葉あそび	46(8.4)	【生活】 保育者との関わり	39(9.2)	【生活】 保育者との関わり	52(9.8)
4	【生活】 友だちとの関わり	42(7.6)	【生活】 友だちとの関わり	30(7.1)	【生活】 友だちとの関わり	48(9.1)
5	【室内】 歌あそび	27(5)	【室内】 わらべうたあそび	18(4.2)	【室内】 絵本・図鑑を読む	27(5.1)
6	【室内】 絵本・図鑑を読む	27(5)	【生活】 挨拶をすること	18(4.2)	【室内】 わらべうたあそび	26(4.9)
7	【室内】 わらべうたあそび	22(4)	【室内】 絵本・図鑑を読む	16(3.8)	【室内】 歌あそび	20(3.8)
8	【生活】 挨拶をすること	17(3.1)	【室内】 手あそび	12(2.8)	【生活】 挨拶をすること	17(3.2)
9	【室内】 手あそび	15(2.8)	【室内】 歌あそび	11(2.6)	【生活】 意見などを発表すること	16(3)
10	【室内】 ごっこあそび	13(2.4)	【室内】 劇あそび	10(2.4)	【室内】 劇あそび	10(1.9)
11	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	12(2.2)	【室内】 ままごとあそび	9(2.1)	【室内】 ごっこあそび	9(1.7)
12	【室内】 ままごとあそび	10(1.8)	【生活】 意見などを発表すること	8(1.9)	【室内】 手あそび	7(1.3)
13	【室内】 ふれあいあそび	7(1.3)	【室内】 ふれあいあそび	6(1.4)	【生活】 他クラス・異年齢児との活動	7(1.3)
14	【室内】 劇あそび	7(1.3)	【室内】 正月あそび	6(1.4)	【室内】 ままごとあそび	6(1.1)
15	【屋外】 わらべうたあそび	7(1.3)	【室内】 ごっこあそび	5(1.2)	【室内】 正月あそび	5(0.9)

表 10 言葉 8「いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	40(7.3)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	40(9.4)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	35(6.6)
2	【室内】ごっこあそび	31(5.6)	【行事】発表会（練習含む）	25(5.9)	【生活】保育者との関わり	30(5.7)
3	【行事】発表会（練習含む）	27(4.9)	【室内】劇あそび	24(5.6)	【室内】言葉あそび	28(5.3)
4	【室内】お店屋さんごっこ	22(4)	【生活】保育者との関わり	23(5.4)	【生活】友だちとの関わり	28(5.3)
5	【生活】友だちとの関わり	21(3.8)	【室内】絵本・図鑑を読む	19(4.5)	【室内】ごっこあそび	27(5.1)
6	【生活】保育者との関わり	21(3.8)	【生活】友だちとの関わり	18(4.2)	【行事】発表会（練習含む）	24(4.5)
7	【室内】絵本・図鑑を読む	20(3.6)	【室内】言葉あそび	16(3.8)	【室内】ままごとあそび	20(3.8)
8	【室内】劇あそび	19(3.5)	【室内】ごっこあそび	14(3.3)	【室内】劇あそび	20(3.8)
9	【室内】ままごとあそび	18(3.3)	【室内】ままごとあそび	12(2.8)	【生活】さまざまなことに挑戦すること	19(3.6)
10	【室内】言葉あそび	14(2.5)	【生活】さまざまなことに挑戦すること	11(2.6)	【室内】絵本・図鑑を読む	16(3)
11	【生活】さまざまなことに挑戦すること	12(2.2)	【行事】運動会（練習含む）	10(2.4)	【生活】意見などを発表すること	16(3)
12	【室内】わらべうたあそび	11(2)	【室内】お店屋さんごっこ	9(2.1)	【屋外】ごっこあそび（屋外）	10(1.9)
13	【室内】制作活動（絵画・描画）	11(2)	【室内】制作活動（絵画・描画）	8(1.9)	【行事】運動会（練習含む）	9(1.7)
14	【生活】他クラス・異年齢児との活動	11(2)	【生活】意見などを発表すること	7(1.6)	【生活】他クラス・異年齢児との活動	8(1.5)
15	【屋外】ごっこあそび	8(1.5)	【屋外】園外散歩	6(1.4)	【屋外】園外散歩	7(1.3)

表 11 言葉 9「絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	105(19.1)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	83(19.5)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	105(19.8)
2	【室内】絵本・図鑑を読む	87(15.9)	【室内】絵本・図鑑を読む	74(17.4)	【室内】絵本・図鑑を読む	82(15.5)
3	【室内】劇あそび	39(7.1)	【室内】劇あそび	31(7.3)	【室内】劇あそび	34(6.4)
4	【行事】発表会（練習含む）	29(5.3)	【行事】発表会（練習含む）	22(5.2)	【行事】発表会（練習含む）	29(5.5)
5	【室内】言葉あそび	20(3.6)	【室内】言葉あそび	15(3.5)	【生活】保育者との関わり	25(4.7)
6	【生活】保育者との関わり	19(3.5)	【生活】保育者との関わり	13(3.1)	【室内】言葉あそび	19(3.6)
7	【室内】お絵かき・自由画	11(2)	【室内】人形・ぬいぐるみあそび	9(2.1)	【生活】友だちとの関わり	15(2.8)
8	【室内】制作活動（絵画・描画）	9(1.6)	【室内】ごっこあそび	9(2.1)	【室内】ごっこあそび	13(2.5)
9	【生活】友だちとの関わり	9(1.6)	【室内】お絵かき・自由画	8(1.9)	【室内】ままごとあそび	8(1.5)
10	【室内】わらべうたあそび	7(1.3)	【室内】制作活動（絵画・描画）	8(1.9)	【室内】制作活動（絵画・描画）	8(1.5)
11	【室内】ごっこあそび	6(1.1)	【生活】友だちとの関わり	5(1.2)	【室内】歌あそび	5(0.9)
12	【室内】手あそび	5(1)	【室内】ままごとあそび	4(1)	【室内】お絵かき・自由画	5(0.9)
13	【室内】歌あそび	5(1)	【生活】意見などを発表すること	4(1)	【室内】わらべうたあそび	5(0.9)
14	【室内】ままごとあそび	5(1)	【室内】歌あそび	2(0.5)	【生活】意見などを発表すること	5(0.9)
15	【室内】リズムあそび・リトミック	5(1)	【室内】ぬりえ	2(0.5)	【室内】人形・ぬいぐるみあそび	4(0.8)

表 12 言葉 10「日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう」を育む遊び・生活の結果

順位	3歳児		4歳児		5歳児	
	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)	遊び・生活	度数(%)
1	【室内】言葉あそび	41(7.5)	【室内】お絵かき・自由画	45(10.6)	【室内】お絵かき・自由画	49(9.2)
2	【室内】お絵かき・自由画	36(6.5)	【室内】言葉あそび	32(7.5)	【室内】ワークブック	47(8.9)
3	【室内】絵本・図鑑を読む	34(6.2)	【室内】ワークブック	28(6.6)	【室内】言葉あそび	36(6.8)
4	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	32(5.8)	【室内】絵本・図鑑を読む	25(5.9)	【生活】友だちとの関わり	30(5.7)
5	【室内】ワークブック	29(5.3)	【生活】保育者との関わり	19(4.5)	【生活】保育者との関わり	28(5.3)
6	【生活】保育者との関わり	19(3.5)	【室内】正月あそび	17(4)	【室内】絵本・図鑑を読む	26(4.9)
7	【室内】カードゲーム・カードあそび	18(3.3)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	16(3.8)	【室内】習字・硬筆	22(4.2)
8	【生活】友だちとの関わり	18(3.3)	【生活】友だちとの関わり	16(3.8)	【室内】絵本・紙芝居読み聞かせ	21(4)
9	【室内】正月あそび	17(3.1)	【室内】習字・硬筆	13(3.1)	【室内】正月あそび	20(3.8)
10	【室内】ごっこあそび	11(2)	【室内】制作活動（絵画・描画）	10(2.4)	【室内】ごっこあそび	13(2.5)
11	【生活】連絡帳・帳面シール貼り	9(1.6)	【室内】ごっこあそび	7(1.6)	【室内】制作活動（絵画・描画）	11(2.1)
12	【室内】お店屋さんごっこ	8(1.5)	【生活】意見などを発表すること	7(1.6)	【生活】意見などを発表すること	11(2.1)
13	【室内】制作活動（絵画・描画）	8(1.5)	【室内】カードゲーム・カードあそび	6(1.4)	【行事】母の日・父の日	10(1.9)
14	【室内】パズル・間違い探し	6(1.1)	【行事】敬老の日の会	6(1.4)	【室内】お店屋さんごっこ	9(1.7)
15	【室内】習字・硬筆	6(1.1)	【室内】ままごとあそび	5(1.2)	【室内】カードゲーム・カードあそび	7(1.3)

3) 年齢の違いによる遊び・生活の傾向について

領域「言葉」の内容 10 項目それぞれについて、3 歳児および 4 歳児、5 歳児での一致の程度について確認した結果を表 13 に示した。

内容 10 項目に対して、関連のある遊び・生活として挙げた各 15 項目のうち、いずれの年齢でも選択された項目数を共通項目として示した。最も共通項目が多かった内容は、言葉 5「生活の中で必要な言葉が分かり、使う」で 15 項目中 13 項目が一致した。以下、言葉 1「親しみを持って聞いたり、話したりする」や言葉 2「考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する」などの 12 項目、となった。最も一致した項目数が少なかった内容でも言葉 3「したいことなどを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする」の 9 項目であった。合わせて、一致の程度として、共通項目度数ならびに共通項目割合として算出した。なお、15 項目度数合計は、内容 10 項目それぞれについて抽出された 15 項目に対する度数であるため、その合計は異なる。共通項目度数は、それぞれの内容の各年齢で共有された項目での度数となり、共通項目割合は、15 項目度数合計における共通項目度数の割合となる。

15 項目合計度数で最も多い値を示した項目は、言葉 1「親しみを持って聞いたり、話したりする」の 1,124 件、次いで言葉 6「親しみをもって日常の挨拶をする」となり、最も値が小さかった項目は、言葉 8「いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする」の

825 件だった。

共通項目割合が最も高かった項目は、言葉 5「生活の中で必要な言葉が分かり、使う」の 96.0%、次いで言葉 9「絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう」の 95.5%だった。一方で、共通項目の割合が最も低かった項目は言葉 8「いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする」の 81.5%だった。

4 考察

1) 対象者の特性について

本研究では、保育指針に示される 3 歳以上児の保育に関するねらい及び内容のうちの言葉の領域について、そこで示されている 10 項目の内容それぞれにおいて年齢ごとに効果的と考えられる遊びや生活を検討すること、合わせて年齢による相違を確認することを目的に分析を行なった。

本調査での回答者である保育士の平均経験年数は全体で 13.2 年であり、3 歳児担当と 4 歳児担当、5 歳児担当の保育士の平均経験年数はそれぞれ 11.8 年、13.0 年、12.2 年であり、大きな違いは確認されなかった。保育者の保育に関する意識や行動に及ぼす要因について、佐藤⁴⁾は経験年数が子ども理解の視点への影響、堀⁵⁾は多様性の受容について援助観による違いを検討している。また、斉藤ら⁶⁾は保育者適正について性格特性や子ども観との関連性について指摘している。こ

表 13 領域「言葉」を育む遊び・生活の年齢間による一致の程度

項 目	共通項目	15項目度数合計	共通項目度数	共通項目割合
言葉1：親しみを持って聞いたり、話したりする	12	1124	1038	92.3
言葉2：考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する	12	976	886	90.8
言葉3：したいことなどを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする	9	954	811	85.0
言葉4：人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す	11	1057	978	92.5
言葉5：生活の中で必要な言葉が分かり、使う	13	1062	1019	96.0
言葉6：親しみをもって日常の挨拶をする	11	1067	1006	94.3
言葉7：生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く	12	1021	947	92.8
言葉8：いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする	10	825	672	81.5
言葉9：絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう	12	1012	966	95.5
言葉10：日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう	12	884	813	92.0

のように保育者の保育に対する行動や意識の背景についてはいくつかの検討が行われているが、本分析の対象である3歳児担当から5歳児担当の平均経験年数に大きな違いが確認されなかったことから、少なくとも経験年数によるバイアスは除外されていると考えられた。

2) 領域「言葉」を育む遊びや生活について

本研究の大きな目的の一つは、領域「言葉」に示される10の内容について、それぞれを育むにあたりどのような遊びや活動が効果的であるかを模索することとした。子どもの言葉の発達や保育に関する研究は数多く存在しており、国立情報学研究所によるCiNii Researchで「言葉」「発達」で検索を行うと2024年10月現在で1,259の論文が検索され、「言葉」「保育」で検索を行うと1,176件の論文が該当する。これらの先行研究では、個別具体的な言葉の指導や実践についての研究が多く、いわゆる保育指針に示される保育内容の「言葉」の領域全体を捉えたものや、そこで示されている内容についてどのような保育で育むことができるかについて示されているものは少ない。その中で、保育指針に示されている領域「言葉」について大澤らは保育内容の言葉の領域で育む内容について、歴史的な経緯をもとに、双方向にコミュニケーションを取ること、言葉の楽しさや美しさに気づくこと・言葉を豊かにすること・想像をする楽しさを味わうこと、文字などで伝える楽しさを味わうこと、の3つに整理した。同時に言葉を育むための指導について、心が動かされるような体験をすること、自分の思いを言葉で伝えると同時に相手の話に興味をもって注意して聞くこと、日常生活の中で言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れる機会を作ること、絵本や物語に親しんだり、言葉遊びなどをしたりすること、が重要であると言及している。⁷⁾

本分析においては、領域「言葉」を構成する10の内容について保育者が効果的であるとした遊び・生活を

抽出した。結果に示したとおり、言葉1「親しみを持って聞いたり、話したりする」や言葉2「考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する」、言葉3「したいことなどを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする」など、日常生活の言葉に関する内容については、「保育者との関わり」や「友だちとの関わり」、「挨拶をすること」といった生活場面での項目が多く挙がっていた。このことから領域「言葉」を育むにあたり、日常生活の中で意識的に言葉を使うことが重要であると示唆された。また、言葉7「生活の中で言葉の楽しさや美しさに気づく」や言葉8「いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする」、言葉9「絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう」など、室内遊びや行事が数多く挙がった内容については、保育者による絵本や紙芝居の読み聞かせや、絵本や図鑑を読む時間の確保、遊びとしてのお店屋さんごっこやままごとあそびを行うなど、意識的な活動の計画や提供・実践が必要であると考えられた。なお、絵本や紙芝居の読み聞かせや、ままごとあそび、ごっこあそびなどは、領域「言葉」に示される10の内容すべてに含まれているため、そもそも日常的に保育の中で行われていることは想定されるが、子どもの言葉を育むにあたり効果的であることを保育者がより意識しながら実践していくことが肝要であると考えられた。

3) 年齢の違いによる遊び・生活について

本分析では、3歳以上児に着目して、領域「言葉」を育むために効果的な遊びや生活場面の行為について検討を行った。しかし言葉に関することも含めて乳幼児期は成長発達著しい時期であることや、遊びや生活での行為・行動も年齢による適応や配慮、工夫が必要となるため、3歳以上児という括りで効果的な遊びや生活を一律に議論することには無理が生じる可能性がある。したがって、本分析では3歳児と4歳児、5歳児それぞれの年齢における効果的な遊び・生活について

検討するとともに、年齢による差異を確認した。その結果、効果的であるとされた上位 15 項目の遊び・生活のうち、言葉 5「生活の中で必要な言葉が分かり、使う」では 13 項目の遊び・生活で一致した。これは、年齢が異なっても同じ遊びや生活場面が効果的であることを意味しており、言い換えれば、3 歳以上児の言葉を育むためには継続して行うことが求められると考えられた。一方、言葉 3「したいことなどを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする」では 15 項目中 9 項目の一致であったことから、年齢による遊びの選択や子どもへの配慮・工夫がより必要になると考えられた。

年齢による遊びや生活場面での選択や配慮、工夫をどのような基準で区別するかを本分析のみで示すことはできないとともに、必ずしも基準を明確化することが保育において要求されているわけではない。重要なことは、保育指針に示されている領域「言葉」を育むにあたり、年齢を跨いで続けていくことに意味がある遊びや生活での行為・行動があること、年齢によって配慮や工夫を意識する必要がある遊びや生活場面があることを把握し、実践していくことである。本分析において年齢による遊びや生活場面の共通部分や相違を確認できたことから、上記のことを保育者が判断するための材料の一つを提供することができたと考えられた。

4) 本研究の限界と課題

本研究の限界として、第一には、調査対象が一つの地方自治体であり、必ずしも全国の実態を反映しているとは言えないという点である。保育者の行動や意識が培われる背景には、保育者が生まれ育った地域や経験、さらには就労してからの経験などさまざまな要素が関与していると考えられる。したがって、本結果は一地域の結果であるため全ての保育者を代表しているとはいえない。ただし、本調査で用いた保育者の行動や意識の項目は、原則として保育指針に掲げられてい

る内容を中心に行っているとともに、多数の保育現場で実践されている内容であり、一地域の結果ではあるものの全国の標準的な内容を踏まえている点については言及しておく。

第二に、本研究では、経験年数の違いによる保育者の行動や意識の違いについて検討したが、行動や意識の違いを及ぼす背景は多岐にわたる点である。つまり、行動や意識の差異の背景を経験年数だけに限定することはできないことから、今後、経験年数以外の背景についても吟味する必要がある。ただし、本研究では、一地域とはいえ全数調査での結果であることから、本分析によって示唆された傾向は十分信頼に値する結果であり、保育者の行動や意識の背景を検討していく際の有益な資料になりうると考えられた。

本研究での課題としては、本分析では 3 歳以上児のみを対象とした点である。言葉に関する発達は 3 歳以前からも出現する。本分析で用いた調査が保育指針の保育内容に記載されている内容に準拠しているため、3 歳以上児と 3 歳未満児ではその内容が異なっている。3 歳以上児と 3 歳未満児の保育内容の継続性や整合性を吟味した上で、0 歳児からの領域「言葉」に関する効果的な遊び・生活場面について検討していくことが今後の課題とされた。同時に、保育の中では単に子どもを遊ばせておけば良い、生活させれば良いわけではない。必要に応じ、保育者が適切に子どもと関わり、援助を行っていることは言うまでもなく、保育者の関わり方や援助の方法によって子どもの育ちに変化を及ぼすことも想像に難くない。本研究では、保育者の関わり方などについては分析の対象外としているため、今後の課題といえる。

5 おわりに

本研究では、保育指針に示される「保育の内容」のうち、3 歳以上児の領域「言葉」に焦点をあて、「言葉」の 10 の内容それぞれを育むために効果的であると考えられる遊びや生活場面について検討を行った。その

結果、保育者や友だちといった人との関わり、さらには挨拶をする、意見を言うなど、日常生活の中での行為・行動の重要性が示唆された。また、言葉に対する興味や関心持ち、楽しさなどに気づくためには、絵本や紙芝居といった児童文化に関する素材が有効であるとともに、ままごと遊びやお店屋さんごっこなどのコミュニケーションを図りやすい遊びの有効性が確認された。

また、連続性においては、3歳児から就学前に至るまでの3年間の中で継続的に行うことが大切であると考えられる遊びや生活場面が確認されるとともに、育みたい言葉の内容によっては、年齢を考慮する内容もあることが確認された。

今後は、3歳未満児の言葉の成長発達を育むために求められる遊びや生活場面を明らかにしていくことが必要であるとともに、保育指針の他の領域についても同様の分析・検討を行っていくことで、保育指針に基づく連続的な成長発達を支援していくことが可能になり、育みたい資質・能力の達成に向けた保育の方法をより客観的に確立できると考えられた。

付記

本研究は、2022年度から実施されている下関市保育連盟での調査研究で得られたデータを活用したものである。

【引用文献】

- 1) 田中浩二, 馬場康宏 (2017) 「効果的な保小連携を促進するための方法に関する検討: 「安全」に関する保育士と小学校教職員の認識について」『東京成徳短期大学紀要』51, 37-47
- 2) 田中浩二 ほか (2019) 「保育士による就学期を見据えた保育内容に対する意識に関する研究: 保育士の経験年数による意識の相違について」『東京成徳短期大学紀要』52, 23-33
- 3) 田中浩二 ほか (2023) 「保護者の子育て支援に対す

る保育関連行為の有用性に関する検討: 保育者と保護者の意識の違いにおける分析から」『至誠館大学研究紀要』10, 49-57

- 4) 佐藤有香 (2023) 「保育者の経験年数による「子ども観」の視点の違い」『日本家政学会誌』74 (3), 148-155
- 5) 堀由里 (2023) 「多様性の受容や尊重を実現するための要員の検討-学生の援助観との関連から」『桜花学園大学保育学部研究紀要』27, 105-109
- 6) 斉藤範子 石川須美子 (2023) 「保育者養成課程における学生の保育者適正に関する要因: 性格特性と子ども観の視点から」『別府大学短期大学部紀要』42, 65-75
- 7) 大澤亜里, 山田千春 (2022) 「保育内容領域「言葉」の変遷と歴史的背景: 「何をどのように指導するか」に着目して」『札幌大谷大学・札幌大谷短期大学部紀要』52, 85-102

【参考文献】

- 1) 厚生労働省 (2018) 『保育所保育指針解説』フレーベル館
- 2) 経済協力開発機構 (2022) 『OECD スターティングストロング白書-乳幼児の教育とケア (ECEC) 制作形成の原点』明石書店
- 3) 経済協力開発機構 (2019) 『OECD 保育の質向上白書-人生の始まりこそ力強く: ECEC のツールボックス』明石書店
- 4) 国立教育政策研究所 (2020) 『幼児教育・保育の国際比較: OECD 国際幼児教育・保育従事者の調査 2018 報告書-質の高い幼児教育・保育に向けて』明石書店
- 5) 厚生労働省 (2018) 『保育所保育指針解説』フレーベル館
- 6) 文部科学省 「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き (初版)」 https://www.mext.go.jp/content/20220405-mxt_youji-000021702_3.pdf (アクセス日 2023.11.1)

- 7) 文部科学省（2023）「学びや生活の基盤をつくる幼児
教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働に
よる架け橋期の教育の充実～」

https://www.mext.go.jp/content/20220307-mxt_youji-1258019_03.pdf（アクセス日 2023.11.1）

Play and Daily Activities that Nurture Children's Development — Focusing on the Domain of “Language” —

Koji TANAKA Yosuke YAMAMOTO Motoshi UMEKI

abstract : In this study, we focus on the "language" domain within the "content of childcare" for children aged three and older, as indicated in the childcare guidelines. The aim is to clarify the types of play and daily activities necessary to nurture the development of the "language" domain. As a result, the importance of daily actions and behaviors in nurturing children's language development during childcare was suggested. Additionally, materials related to children's literature, such as picture books and kamishibai (storytelling with pictures), were found to be effective, along with the effectiveness of play that facilitates easy communication. Additionally, it was confirmed that certain types of play and daily activities, which should be continued consistently over the three years from age three until the beginning of school, are important. It was also suggested that, depending on the content of language development, some activities should take the child's age into consideration.